



精いっぱい生きるとは ~ 道徳授業から ~

先週の26日に「いのち」について考える道徳公開授業、道徳講演会が行われました。毎年、押原中学校では全校で「いのち」についての授業をしていますが、私たち2年生では「たったひとつの命から」という教材から、限られた時間を一生懸命に生きている秋雪くんの人生や家族の思いを知り、「精いっぱい生きる」ことの大切さを自らの経験と重ねながら考えました。「いのち」は私たちの人生の中に、いくつものきっかけを与えてくれることがあります... 15年前、私がまだ担任の頃に入院生活をしている生徒からクラスの仲間に向けて手紙をもらいました。中には「明日があると言って 今日をだらだらと過ごしているみんな... 今日という日、今という時間は二度と戻ってこないよ。今、自分に与えられている時間を無駄に過ごすのはやめたほうがいいよ... 明日が来ないかもしれない俺より」と。このメッセージは毎日何となく過ごしてきた私自身の生き方を見直す大きなきっかけとなりました。今回の道徳授業も皆さんにとって今の自分をしっかりと見つめて、これからの中学校生活(人生)をどう生きていくのか考えるきっかけになってくれると思います。

< 生徒のフワシートから ~ 必死に生きる、精いっぱい生きるとは どういうことだろう ~ >

- 後悔しないように、いつも全力で物事に取り組んでいくこと。
- 当たり前すぎて普段は何も思わないけれど、生きていることが奇跡だと思いつつながら生きること。
- 自分のいのちがある限り、一生懸命に生きようとする。
- 辛いことがあっても 突き進んでいく勇気や行動。
- 覚悟を持って、一つ一つのことに精いっぱい大切にしながら生きること。

- あきらめなくて、努力をして自分や周りの人を幸せにすること。
 - 何事にも前向きに、一日一日を大切に自分で楽しい人生に変えていくこと。
- 一部は紹介できませんが、このように自分なりに考えを深めてくれました。当日は保護者の皆さまにも参観いただきましたが、涙を流れる姿もありました。また、ご家庭でも道徳について話題にしていたければと思います。本当にありがとうございました。



担任の先生たちも「どうすれば皆さんに上手に伝えられるか、考えを深めてもらえるのか」を自分たちで意見交換しながら授業の準備をしていました。

< 11月の予定 >

日	月	火	水	木	金	土
			1 創立記念日 (学校閉庁日)	2 学校委員会	3 文化の日	4
5	6	7 集金日①	8 集金日② 問題別研究会	9 集金日③ 3年教達検	10	11
12	13 職員会議	14	15	16 芸術鑑賞教室	17	18 ※
19	20 県民の日 学習強化週間	21 認知症サポーター養成講座	22	23 勤労感謝の日	24	25
26	27 到達度検査① (期末)	28 到達度検査② (期末)	29	30 立会演説会	1 生徒会役員選挙 (投開票)	2